松　井　久　子　監　督　作　品

# 何を怖れる

## フェミニズムを生きた女たち

闘った、生きた、老いた…
彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃
彼女たちはまだ20代、30代だった
おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた
その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく
つよい意思をもって生きてきた
男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても
すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら
つねに女たちと共感し、女たちとつながって
老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している
そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか?
次の世代に何を伝えようとしているか?
「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が
フェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画

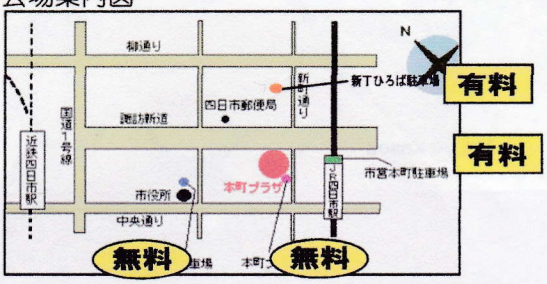
松井久子
Hisako Matsui
映画監督 / プロデューサー

出演●池田恵理子、井上輝子、上野千鶴子、加納実紀代、駒尺喜美、桜井陽子、高里鈴代、高橋ますみ、滝石典子、田中喜美子、田中美津、中西豊子、樋口恵子、米津知子

日　時　2015年　2月7日(土)
13：30開場　14：00上映（上映時間 約120分）

会　場　四日市市本町プラザ一階ホール
チケット　1,000円
託児・託老あります（1月31日までにお申し込みください）
お問い合わせ　09034580055(堀田)　09091972801(中川)
08036619010(坂倉)
主　催　「何を怖れる」を上映する会
NPO法人四日市男女共同参画研究所

会場案内図




●「本町プラザ駐車場」車高155cm以上は駐車不可です